

## 研究名：

小児期発症潰瘍性大腸炎からクローン病に診断が変更となった症例の臨床像と予測因子の検討

### 1．研究の目的

小児期に発症する炎症性腸疾患では、診断時に典型的な潰瘍性大腸炎やクローン病の病型を示さないことがあります。そのため、治療中に潰瘍性大腸炎からクローン病に診断が変更となる場合がありますが、そのような患者さんの臨床像や、事前に診断変更を予測する因子について検討した研究は殆どありません。本研究では当センターで診療している潰瘍性大腸炎の方のデータと、潰瘍性大腸炎からクローン病に診断が変更となった方のデータを比較・解析して、その臨床像と予測因子に関して検討いたします。

### 2．研究の方法

研究対象： 2006年8月～2019年8月に当センターで6か月以上診療された小児期発症潰瘍性大腸炎の方と、経過中に潰瘍性大腸炎からクローン病に診断が変更となった方

研究期間：倫理審査委員会承認後～2021年3月

研究方法：電子診療録より本研究に関するデータを抽出して解析いたします

### 3．研究に用いる情報の種類

小児期発症潰瘍性大腸炎の方と、潰瘍性大腸炎からクローン病に診断が変更になった方の下記の情報を用います。

- 性別・発症時年齢・診断時年齢・診断に用いた検査
- 病型・重症度・合併症・診断検査
- 血液検査結果・内視鏡検査画像・病理検査
- 治療内容

### 4．情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

### 5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

## 6 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がございましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書及び関連資料の閲覧が可能です。

研究に情報が使用されることについて、ご本人もしくは代理の方にご了承いただけない場合は、5月31日までに下記の連絡先までご連絡ください。その場合でも診療の不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 消化器科 竹内一朗

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7114）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 消化器科 竹内一朗